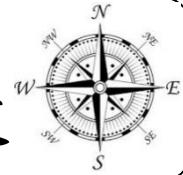


羅 金十盤



太秦中学校
進路指導部
9月19日
No.38

公立高校の費用について

第2回定期テストが終わりました。しっかりと準備して受けられましたか？できなかったところはそのままにせずに必ず復習してほしいと思います。来月は最後の学習確認プログラムがあります。入試でどれくらい点数がとれるかの目安となる大切なテストです。予習シートなどもうまく使って学習していきましょう。

今回は公立高校の費用についてです。公立高校は費用が掛からないイメージがありますが、実際はどうなのか、山城高校の資料を基に載せてみます。

- ・入学料 5,650円
- ・授業料 118,800円（国の就学支援金で減免あり。）
(およそ収入が910万円以下の世帯は無償となります。)
- ・学校諸費 約 48,000円
- ・教科書代 約 23,000円
- ・体育用品 18,000円（体操服、体育館シューズ）
- ・制服など（一式の場合） 約 60,000円
- ・ipad代（保険などを含めて） 約 70,000円



合計（研修旅行積立金含まず） 約343,000円

プラス

- ・海外への研修旅行の場合 300,000円ぐらい+パスポート申請に10,000円ぐらい
- ・国内の場合 100,000円ぐらい。
※ただし研修旅行代は、7か月の月割り（1年生で行く場合）や、20か月の月割り（2年生で行く場合）など、預り金として引落としがあることが多いです。

プラス

- ・交通費 近いところなら定期券の購入で、普通の料金の半額ぐらいになります。
また、自転車での通学なら、自転車代プラス自転車の保険の費用が掛かります。
また、駅まで自転車でいき、電車で通学するなら、プラス駐輪所代がかかります。
高校は平均1時間かけて通学する人が多いので、毎日のことなので、交通費もばかになりません。



これらのお金をお家の方は出してくださることを肝に銘じて、しっかりと進路を決め、そして精一杯高校に入ったら勉学に励むことが大切だと思います。